



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan

Mail : uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp

URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 A・シナヴァスカーン (インド)
"Together for a Better World" 「より良い世界のために、共に」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港)
"Make a Great Impact" 「大きなインパクトを起こそう」
西日本区理事 鵜丹谷 剛 (神戸クラブ)
"Connecting Local to the World with YMCA"
「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
六甲部部长 小野勅紘 (西宮クラブ)
「一人は万人のために、万人は一人のために」
芦屋クラブ会長 柏原佳子
「豊かなクラブライフを！」
「タレントを惜しみなく発揮しましょう！」

今月の聖句

わたしの家は、祈りの家と呼ばれるべきである
＜マタイ福音書21章 13節＞

4月第1例会

芦屋川さくら祭り

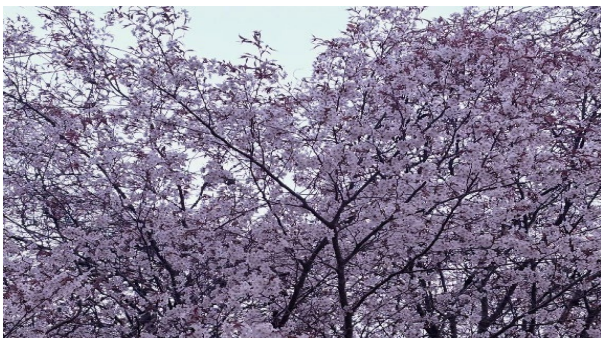
と き: 2025年4月16日(日) 8:00~18:00
と ころ: 芦屋川東岸 テント番号 19
集 合: 8:00 19番テント前

チヂミ 400 円

ワイン (赤・白) 400 円

磯辺焼 400 円

桜が満開です。張り切って売り上げましょう。



会 長 柏原佳子
直前会長 上野恭男
副 会 長 田辺征一・福原吉孝
書 記 上野恭男
会 計 桑野友子
監 事 島田 恒
担当主事 横山徹太郎
六甲部 EMC 主査 島田 恒

4

April, 2025
334号

「満開の桜を祈りつつ」

会長 柏原佳子

3月は六甲部評議会、総主事懇談会、芦屋クラブYMCA
担当主事が横山徹太郎氏から井島祐介氏に交替、YMC
A総主事退就任式の伴う歓迎レセプション出席者の確認
等々、13日はEMC主査によるEMCシンポジウム&「出版
記念講演会」と盛り沢山の行事にむけての連絡に慌ただしく
過ぎてしまいました。なんとと言っても20年近く続いてきた「さくら
祭り」の準備に慌ただしく季節の節目を忙しく過ごしました。
迎える4月6日(日)は天候が案じられますが、花冷えのため
桜は見事に満開となって祝福してくれる事を願っています。
(5月号は桜祭り満載です♪)

西日本区大会 in 神戸の実行委員会も第1次締め切りを4
月7日に迎えて大変忙しい時期を迎えています。ゴルフ大会
も見通しが明るくなり、ひとつ胸をなで下ろしています。
何故こんなに忙しく大変だったのかは、私事ですが、急に新し
い車に乗り換えたことに理由があります。3月31日に新しい
車が車庫に入り喜びとは別に、システムのあまりの変化に「浦
島太郎」状態のショックを受けました。長年愛用した愛車は、
常にピカピカで、デザインに古さを感じませんでしたが、こんな
難しい車を動かしていたのかと驚きました。
怖いもの知らずで10数年、ようやく手足のようになってきたアル
ファロメオに最後のお別れをしました。
ダークグリーンの FIAT は新規一新、勇気をもってもう少し、
頑張りたいと思います。

3月例会集計

第1例会出席 メンバー 14名	例会出席率 出席者 14名	BF切手 累計 gm
メネット 名	メイクアップ 名	
コメット 名	合計 名	ニコニコ
ビジター 2名	在籍者 17名	10,508 円
ゲスト 2名	(内広義会員1名)	累計 71,176 円
合計 18名	出席率 82.4%	

3月第1例会報告

日時： 2025 年3月 19(水) 19:00～21:00

場所： ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者： 柏原会長、上野、桑野、権、島田、田辺、堤、
中島、中山、濱瀬、坂東、福原、船橋(各ワイズ)
& 横山担当主事

ゲスト： 山中 勸氏(ゲストスピーカー)、大西謙氏

ビジター： 川崎孝子(神戸クラブ)、柳 敏晴(神戸西)

春の訪れがまだまだの肌寒い今年の 3 月中旬、ホテル竹園芦屋で、定例の第 1 例会が開催されました。柏原佳子会長の開会点鐘、クラブソング斉唱、続いて、島田恒ワイズの聖書朗読で、始まりました。



今年初めての、
ゲストスピーカー
をお招きしての
会となりました。
「神戸で 1 番面
白い会社を目標
して」 題目から
とても興味津々
どんな会社な
のでしょうか？

スピーカーの山中勸氏は、NHK 大阪「ルソンの壺」テレビ東京「カンブリヤ宮殿」など多数の TV 番組に取り上げられた伍魚福という会社の代表取締役代表の方です。伍魚福(ごぎょふく)の社名は、先代が古い師のサイコロから出てきた名前との事、将来とても発展する会社であると告げられたそうです。なんと不思議な社名なのでしょうか！

神戸の春の風物詩、「いかなごのくぎ煮」を神戸で最初に発売した会社で、この会社の登録商標であるとの事です。「すばらしくおいしいものを造りお客様に喜ばれる商いをする」という明確な経営理念があつての成功なのでしょう。又、このようなことも話されていました。工場を持たないメーカーでファブレスメーカーというそうです。

全国 200 社の協力工場でものづくりをするとの事。その発想に、なるほどと納得しました。まだまだ、会社のエピソードなど、話が尽きなく、題目の「神戸で一番面白い会社を

目指して」にピッタリの会社の勢いを感じました。

その後、YMCA 報告後、神戸クラブ川崎孝子ワイズより、世界自閉症啓発デーについてのお話がありました。LIGHT it up BLUE 2025 年 4 月 2 日は、世界 172 ヶ国で青い光でつながります。芦屋では、芦屋ペデストリアンデッキで、青い風船を空高く飛ばすイベントが開催される予定です。

青い色で、世界が 1 つになる日となります。

多方面の方々との、つながりが深く感じられる第 1 例会となりました。

濱瀬 真知子



2 月・3 月の誕生日お祝い

ゲストを招いての例会は久しぶりです



「ラオスに YMCA を！」支援上映会報告

3 月 8 日に大阪 YMCA で行われた熊沢誓人監督「ラオス 竜の奇跡」の映画を見に行きました。これは大野嘉宏ワイズ(京都パレス)が中心となってクラブ事業として進められているラオスに YMCA 設置を支援する一環として行われたものです。現在アジアで YMCA が無いのはラオスと北朝鮮だけで、元西日本区理事であり在京都ラオス人民民主共和国名誉理事である大野ワイズの強い思いからスタートしたものです。ラオスは海に面していないことによる輸出産業の難しさなどから GDP も低く、海外からの観光事業が GDP の大きなウエイトを占めているとのこと。しかし、ホテルは不足気味で、ホテルマンの養成もできていない。ホテルマンを育てラオスを観光立国にしようという強い決意のもとラオス労働社会福祉大臣の認可も得て今年度中に YMCA ホテル専門学校が開校されます。それだけに当日の参加人数の寂しさが気になりました。さて、映画の話は、貧しいラオスの田舎の生活から飛び出した女性「ノイ」が森の中をさまよって 1960 年にタイムスリップし、日本の青年に出会い地元の農家のお世話になりながら、人の触れ合いの大切さを描いていく物語です。この青年「カワイ」はラオスに発電用のダムを建設するために日本から派遣されるが、河を測量中に 1960 年当時のラオス内戦の流れ弾に当たって死亡する。しかし、岸に流れ着いてノイと出会うというメルヘンチックな物語です。2 人は農家の世話になりながらカワイは村人たちにダムの必要性を必死に説明するが、村の人たちは自分たちを育てた竜神のいる河を改造することに反対する。ノイとカワイはこの村を出ようと内戦の弾が飛び交う森の中を歩いていくが、温和で他人を思いやる気質を持った村人たちは 2 人を心配しあとを追いかける。その後何年たったかわからないが、新しくできた橋を渡りノイは竜神の見守りの中、現代社会へ戻っていくことを示唆するところで FIN となる。仏教国ラオスに YMCA ができるのはまさに「竜の奇跡」かもしれない。

田辺 征一



2024年度次期会長・主査研修会報告

3月1日午後開催の西日本区次期会長・主査研修会に次期会長の田辺と次期地域奉仕主査の福原が参加しました。名古屋以西の各地から65名が出席。開会点鐘、ワイズソング斉唱でスタート。一番バッターは西日本区理事鶴丹谷ワイズ(神戸クラブ)の「西日本区および国際の現況報告」です。今期の西日本区のメンバー数は1262名でこのところ毎年減少傾向にあり、EMC(会員増強)の必要性が叫ばれています。つづいて、元西日本区理事の遠藤ワイズ(大阪泉北クラブ)の基調講演「ワイズメンズクラブと私」では仲間のワイズに支えられてきたことのスバラシさと他クラブ訪問によりワイズの幅が広がったことなどを話された。

休憩後、次期理事の中井ワイズ(奈良クラブ)による理事主題『世界中の仲間とYYY ライフを楽しみましょう!!』とスローガン『あなたに寄り添う、あなたを忘れない。』の説明があり、引き続き次期4主任(Y サ・ユース、地域奉仕・環境、EMC、国際交流)による事業方針についての説明がなされた。メネット委員会代表の大野智恵ワイズ(神戸ポート)からはメネット事業はなくなったが、各部やクラブで有益な活動が展開されていることが報告された。

2回目の休憩後、「会長の在り方」と題して京都グローバルクラブの直前会長寺久保ワイズから会長としての心構えをとうとうと熱心に語られた。この間、別室では部長・事業主任・事業主査の伝達・連携についての話し合いがおこなわれた。

その後、3回目の休憩をはさんで『ワイズがラオスに YMCA を!』が元西日本区理事大野ワイズ(京都パレス)から、「ワイズ活動におけるキリスト教理解」が西日本区チャプレンの立野ワイズ(広島)から、「日本の YMCA の現状理解と課題」が担当主事の有田征彦氏(日本 YMCA 同盟)からあり、無事研修を終えることができました。

長時間聴くことに徹する会であったので正直疲れました。特に、早口で話され半分はどしか聞き取れない発表やマイクから離れてしゃべるので音が小さく聞こえないことが多く、大会運営上かなり問題だと思われました。高齢者は聴力・視力とも落ちているので、座席を指定される場合は前方にお願いしたいとも思いました。



執行役員・部長の皆様

田辺征一

2024-25 年度六甲部第 2 回評議会

第2回評議会は3月15日(土)14:00~17:00神戸YMCAチャペルにて開催された。

開会宣言・開会点鐘、ワイズソング斉唱、定足数の確認、活動中間報告、会計中間報告、各事業主査報告、クラブ会長報告と時間通りに進行了しました。

EMC 主査の島田ワイズが所用で欠席(委任状提出)の為、福原ワイズが代行で登壇、島田主査の「参加者の楽しみで生きる充実につながる居場所になるようなクラブを期待する」を主題に、昨年11月2日の第1回 EMC シンポジウムに続いて、4月13日第2回シンポジウム「島田ワイズ出版記念講演会」を開催、「各クラブから加入候補者に参加いただき、成果を達成したい」と呼びかけました。



芦屋クラブ柏原会長は「豊かなクラブライフを!」の会長主題通り、各月の充実した例会を持つべく、「各自のタラントを惜しみなく発揮しよう!」のモットーの下、メンバーそれぞれが充分に力を出し合えた事を報告しました。

6月には次期の前半のスケジュールを発表、7月~12月クリスマス祝会まで幅広いビジター・ゲストを迎え期待通りの例

会を開催出来きました。

後半の活動予定は2月恒例の YMCA 留学生交流会、メンバー・ビジター・留学生が親しく交わり、YMCA & ワイズならではの有意義な例会でした。4月6日は芦屋川さくら祭りに参加、これは地域の方たちとの交わりと共に、クラブのファンド作りに大いに貢献するでしょう!!

6月の西日本大会には10名参加予定、「理事杯ゴルフコンペを主催し、楽しく交わりたい。ただ、1名のドロップ(理由は仕事とボランティアの両立が困難)を出したことは少し悔やまれます」と締めくくられました。

その後、小野部長より7つの議案が提出され、それぞれ活発に議論されました。

第2号議案で25-6年度における次期部長を学園都市クラブの杉本隆人ワイズを推薦、承認されました。

第5号議案4月12日の神戸 YMCA 総主事就退任式に参加の海外ゲスト歓迎会(4/11)の費用を六甲部から支援の件に関して、柏原会長から「六甲部部会の剰余金を当てるのはどうか」と提案があり、満場一致で承認されました。

その後、中華料理ヤツチャイでの懇親会に参加、皆よく食べ且つ飲み、メンバーの交わりをより深めることが出来ました。

評議会・懇親会の参加者は柏原会長・上野・桑野・福原(各ワイズ)の4名、委任状参加は田辺・島田・濱瀬・坂東(各ワイズ)の4名でした。

桑野友子

『 聖句 読み説き 』

エルサレム神殿の一面「異邦人の庭」での出来事。主イエスの宮清めである。「イエスは神殿の境内に入り、そこで売り買いをしていた人々を追い出し、両替人の台や鳩を売る者の腰掛を倒された。そして言われた。『こう書いてある。わたしの家は、祈りの家と呼ばれるべきである。』ところが、あなたたちはそれを強盗の巣にしている。」その境内で主イエスは病める人々に癒しを施される。その不思議さに境内にいた子どもたちまでが、『ダビデの子にホサナ！』とはやし立てる様子に、ユダヤ教の教師たちが腹を立てる。主イエスは『幼子や乳飲み子の口に、あなたは賛美を歌わせた』という詩編の一節を引用して礼拝に必要なのはこのような子どもたちの声であると語りかける。

羽太英樹

2024年3月第2例会議事録

場所： 芦屋市民センター別館 212 号室

日時： 3 月 26 日（水） 18:30～20:00 （敬称略）

参加者： 柏原会長、上野、桑野、島田、田辺、堤、福原、横山担当主事

プリテン編集会議： 18:30～

議事・報告

◇第1例会、今後の予定

- ・4 月 6 日（日）桜まつりを第 1 例会とする。
- ・4 月 11 日（金）YMCAウエルカムパーティに田辺出席
- ・4 月 12 日（土）総主事退就職記念会 聖ミカエル教会
参加者： 柏原会長・上野・田辺・島田・濱瀬
- ・4 月 13 日（日）EMCシンポジウム兼島田恒出版記念会
ラポルテホール 14 時～16 時
- ・4 月 23 日（水）第2例会 芦屋市民センター212 号室
- ・5 月 21 日（水）アコーディオン演奏 H竹園

◇今後の予定

- ・6 月 13 日（金）西日本区大会ゴルフコンペ8時集合
参加者： 上野・柏原・桑野・島田・浜瀬・福原
受付担当： 堤・坂東
- ・6 月 14 日（土）西日本区大会in神戸
参加者： 柏原会長・上野・桑野・島田・田辺・浜瀬・船橋・福原・堤・坂東 計 10 名

◇2月会計報告 桑野会計 承認

◇その他：

- ・世界自閉症啓発デーアピール 4 月 2 日 16 時 30 分～
JR芦屋駅北 応援参加
- ・4 月 26 日（土）神戸ポートチャリティ演奏会 応援参加
- ・西日本区大会ポロシャツ 15 枚購入
大会に参加される方はもとより、されない方も1枚の購入をお願いします
- ・みどり基金募集が始まります。みどり作業所への支援で、お渡ししている封筒に金額とお名前を記し、会計にお渡し下さい。皆様の御協力をよろしくお願いします。

◇YMCA報告 4 月より横山担当主事→井島祐介担当主事に変更の報告

以上

書記 上野恭男

YMCA ニュース

◇神戸 YMCA 学院専門学校 卒業式

神戸 YMCA 学院専門学校では、2025 年 3 月 7 日に神戸栄光協会にて卒業式を実施しました。日本語学科は約 80



名の留学生が、神戸 YMCA を卒業しました。今年は皆勤賞、精勤賞が全学生の半数をしめ、1 年半～2 年の間に 1 日も休まず、勉学に励みました。

みなさん本当に頑張りましたね。卒業式のあとには茶話会も



あり、クラスメイトや先生と話したり、思い出のムービーを観て学校生活を振り返ったり、とてもいい時間を過ごすことができました。これから大学、専門学校、大学院、就職、帰国する人、それぞれ違う人生を送ります。たまにはここで出会った仲間を思い出してください。この学校のことを思い出してください。そして頑張った日々のことを思い出してください。わたしたちは、みなさんのこれからの生活に幸せが訪れることを願っています。

担当主事 横山徹太郎

編集後記： ◆4月第1例会がさくら祭りと決まったのを良いことにプリテンの発行が遅れてしまいました。済みません。

◆3月までは新聞・TV・週刊誌に大谷翔平のニュースを見ない日はなかったのに、4月になれば連日トランプ大統領の関税のニュース一色です。就任直後から大統領令に猛烈なスピードでサインをして次々と前政権の政策を覆す様子がニュースに流れましたが、ワイズは政治の話は御法度ですので、朝日川柳から余り政治色のない川柳を転載します。

- ・速乾の舌の根もつやタリフマン（言うことコロコロ）
- ・キスなんてほっぺにだってしたくない（下品すぎるトラ）

◆ついでに大阪万博関連の川柳を・・

- ・並ばない約束どこや夢の洲（雨の開幕初日）
- ・行列があつてなんぼの万博か（半世紀前も）
- ・QRコードと言われ引き下がり（デジタル万博）

堤ワイズは開幕初日に行かれたとか。スマホを駆使して若い人並みですね。

桑野友子